

生活支援コーディネーターの主な活動（6月～10月）

1. 市域での高齢者生活支援

①助け愛隊活動の実施

- ・高齢者宅の大型ごみの搬出に障がい者作業所（利用者、職員）等が活動
⇒今後、地域版助け愛隊創出の際も活動を希望

②すいたの年輪ネット作業部会の開催

- ・「吹田市高齢者生活サポートリスト集いの場編」改訂作業部会 [資料 3 参照](#)
- ・すいたの年輪ネット市民フォーラム作業部会 [資料 4 参照](#)

③認知症地域支援推進員との連携

- ・地域検討会で認知症支援も兼ねた取組みについて検討

2. 地域での高齢者生活支援

①高齢者対象のオンライン講座の開催をサポート

②各地域の地域検討会をコーディネート [資料 2 参照](#)

3. 地域ケア会議との連携・連動

①地域ケア会議事務局会議(6/22、10/19)

②地域ケア会議に参加(地域型生活支援コーディネーター)

4. その他

①e コミマップ(ICT ツール)を活用した高齢者生活支援体制整備事業の実践報告(7/24)

②厚労省研究事業「令和5年度老人保健健康増進等事業 高齢者施設における非常災害時における地域ネットワーク構築の促進及び訓練の実効性の確保に関する研究事業」に委員参加(8/24)

③「ふくしと教育(第36巻)」(日本福祉教育・ボランティア学習学会監修)に寄稿

④生活支援コーディネーター「本音で語ろう!!情報交換会」実行委員会に参画